

地域にはばたく市民パワー!

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2011年 10月号 (第43号)

発行責任者 加曾利 厚雄



長久寺山門: 23. 9. 30 ウォークラリーにて編集部撮影

ところざわ倶楽部総会の御案内

更なる活性化を目指して!

副会長(総務部長) 海老澤 愛之助

本倶楽部も、早いものでこの11月をもって5年目(第5期)に入ることになりました。

「ところざわ倶楽部」会員の皆様におかれましては、サークル活動に邁進されていることと存じますが、そのことはとりもなおさず、サークルの集合体である「ところざわ倶楽部」の活動を支えておられることに通じております。

すなわち、会員各位もご承知のとおり、今期(第4期)は第3期までと異なりまして、各サークルの皆様が、講演会などの倶楽部の事業に関わる等、新しい機軸の下に活動してまいりました。

今後とも会員皆様力が合わせ、一層活発なサークル活動を展開し、倶楽部の活性化に繋げて頂ければ幸いです。

さて、「ところざわ倶楽部」の総会ですが、次の要領にて開催いたします。

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 日時 | 11月17日(木) 13時～16時 (12時20分受付開始) |
| 場所 | 新所沢公民館 |
| 資料 | 当日配布 |
| その他 | 議事前に「音楽連・市民大学派」及び旧「おたまじゃくしの会」と皆で歌おう。 |

会員の皆様には、別途総会案内を差し上げますが、万障お繰り合わせの上、奮ってご出席賜りますよう、お願い申し上げますとともに、倶楽部への積極的な関与を心から期待申し上げる次第です。

「ところざわ倶楽部」は、試行錯誤を繰り返しながらも、より良い倶楽部を目指して日々努力し、成長しております。より一層良い倶楽部にするためにも、新機軸に対するご意見や感想等、活発なご発言を賜ることができれば幸いです。

ところざわ倶楽部ウィーク 滞りなく終了

9月25日(日)から1週間にわたって、「県立いきものふれあいの里センター」で開催されていた《ところざわ倶楽部ウィーク》は、10月2日(日)滞りなく終了しました。

会員各位の御協力に感謝申し上げます。

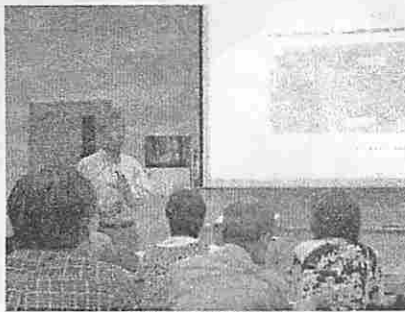
25日午前の町田歴環管理組合理事長 田極公一氏による講演を皮切りに行われた、ウォークラリー、体験炭焼き、探鳥会、オカリナ教室等のイベント、期間を通して行われた各サークルの活動状況展示等、計画されていたイベントは総て順調に進められました。

期間中のセンター訪問者は延べ702人にのぼり、当初の目的は一応達せられたものと思っています。

昨年度は、いきものふれあいの里センターのイベントへの展示参加のみでしたが、今年は倶楽部主催のイベントが多数企画されました。イベントによって参加者に多寡はありましたが、参加された皆様お疲れ様でした。秋の狭山丘陵の自然に触れ、それなりにお楽しみ戴けたものと思います。

なお、サークル活動展示への参加サークルの数も昨年より増え9サークルになり、また、「地球環境に学ぶ」は、省エネに関する体験コーナーも設け関心を集めていました。

記録写真を幾葉かご紹介して、ご報告に代えさせていただきます。
(理事 高橋 記)



講演会(23.9.25)



オカリナ教室(23.10.2)



体験竹炭焼き(23.9.28)



サークル活動状況展示(23.9.25~10.2)

大好評だった《ウォークラリー》

本ウィークのメイン・イベントとも言える「歴史探索ウォークラリー」が、歴史散策クラブと野老澤の歴史を楽しむ会の主催で、9月27日(火)及び30日の2日間にわたって吾妻地区を主たる会場として実施された。

第1日目は、西所沢駅を出発点とし、柳瀬川沿いにいきものふれあいの里を目指すコースであり、第2日目は、所沢駅東口を出発点とし、八国山・鳩峯神社を經由していきものふれあいの里を目指すコースであった。

このイベントは、参加資格がところざわ倶楽部の会員に限定されていたにも拘わらず、両日併せて58名という多数が参加し、好評のうちに終了した。30日の状況を写真と参加者の感想でお届けする。(高橋 記)



ブリーフィング

プロデューサー
大河原さん観察ゾーンA
「長久寺」

優勝を狙うゾ!

チェック・ポイントNo.8
「仏眼寺」

イザッ! 出ば〜つ



アレッ! 道間違えたかな!



成績発表と表彰式

ウォークラリーに参加して

歴史散策クラブ 荒幡 千鶴子

晴、暑さが戻り汗ばむ9月30日(金)に「吾妻地区歴史探索ラリー」が実施された。

9時30分、参加者全員が遅滞なく所沢東口に集合。何と総勢30名が参加。8個班が編成された。

大河原歴史散策クラブ会長による、凡例に基づくコマ地図の見方の指導のほか、ラリー進行要領の説明を受ける。予め問題の知らされている11個のチェック・ポイントのほか、二つの観察ゾーンが設けられているという。

交通安全等の注意を承ったのち、コマ地図を頼りにいざ出発。各班の出発間隔は3分だ。

ところが、行き先は判明し、知らない道ではないが、地図をクルクルと回し、目的のポイントを探すことの難しさ。地図の読めない私としては大変。グループの意見を一つにという言葉に助けられ、長久寺に到着。

ここは問題が後から出題されるという観察ゾーンの
ところざわ倶楽部ホームページ <https://sites.google.com/site/tokorozawaclub>

一つで、既に到着組がウロウロと境内を調査。兎に角気付いたことは全てメモし、4人の知識を全開?した。

幾つかのチェック・ポイントに設定された課題の解答を見付けながら、八国山から水天宮への行程は歴史を辿る。皆知識豊富で教えて頂くばかりであった。

正午は過ぎていたが、あと一息と進む。昼食場所で長久寺の問題が渡された。沢山の問題が隠されていたことに驚く。

ドレミの丘から市内眺望、地元の努力で修復された荒幡富士を通り、午後1時50分ゴール。万歩計は13,000歩。書記の市川さんお疲れ様、そして甲田さん、神山さん感謝です。

ちょっぴり道を間違えたり、チェック・ポイントの課題を解くために畑作業の方にお聞きしたり。でも、最後に1等賞を戴き、大満足の秋の1日が終了。

大河原さんってスゴイ!! お疲れ様でした。

【10月行事予告】

芋煮会へのお願い

所沢の自然と農業 後藤律子

厳しかった残暑も過ぎ、いよいよ秋本番になってきました。秋と言えば紅葉を愛でる“紅葉狩り”、“読書の秋”、“芸術の秋”そして何よりも“実りの秋=天高く馬肥ゆる秋”です。

そこで、倶楽部の今期最後のイベントとして、これらを全部ひっくるめて楽しめる芋煮会を企画しました。

モミジには少し早いので、ススキ、クズをはじめとした狭山丘陵に茂る秋の七草を愛でつつ会場へ移動し、秋野菜の収穫を通じて実りの秋を実感、有機栽培の蘆薈を聞かせて貰います。次いで素敵なアルパの音色に耳を傾けて芸術の秋を楽しみ、メイン・イベントの芋煮を堪能することにより“天高く馬肥ゆる秋”を実感する・・・欲張りな企画です。

芋煮の材料となる野菜は、サークルの仲間がこの農園の一部を借りて春から育てた有機栽培の野菜です。外にも有機栽培の“茹で落花生”が期待出来ます。

左党の方にはたまらない“おつまみ”です。

この機会を通じて他サークルの方々と交流の輪を拡げ、“倶楽部会員でよかった”の思いを確かめて下さい。

そして、お帰りに当たっては、市内の若手農業者が丹誠込めて育てた有機野菜のお土産をお持ち帰り頂く予定です。

日時：10月26日(水) 10:00～14:00

場所：農家民宿「コロット」(山口2040)

会費：500円

- ・ イベントの詳細は、折り込みチラシをご覧ください。
- ・ 調理の量やお土産の数の把握など準備の都合上、参加希望者は事前申込に御協力下さいますよう、お願い致します。

右：[コロット]の外観



三ヶ島糞谷八幡神社神事流鏝

野老澤の歴史を楽しむ会 中 素

所沢の西の外れ狭山丘陵の一角、三ヶ島に糞谷八幡神社が有ります。この地域は古来より水利に恵まれ、砂川掘遺跡・お伊勢山遺跡など所沢でも人類の足跡が早い時期から見られる所です。

神社は糞谷地区集落の外れに鎮座して背後は狭山湖、鳥居の前は糞谷八幡湿地があり、夏ともなると“源氏ぼたる”が飛び交うなど自然が色濃く残っています。近くには狭山湖に秘められた悲恋物語「おまんと清太郎」の舞台となった「おまん坂」もあります。

此の神社の由来など詳らかではありませんが、江戸末期の頃より「流鏝馬神事」が行われていることをみると、古い歴史を秘めた由緒ある神社であることは想像に難くありません。

9月25日に大祭が行われ、恒例の「流鏝馬神事」が行われるとのことで、「所沢の歴史を楽しむ会」の面々10余名が見学に訪れました。

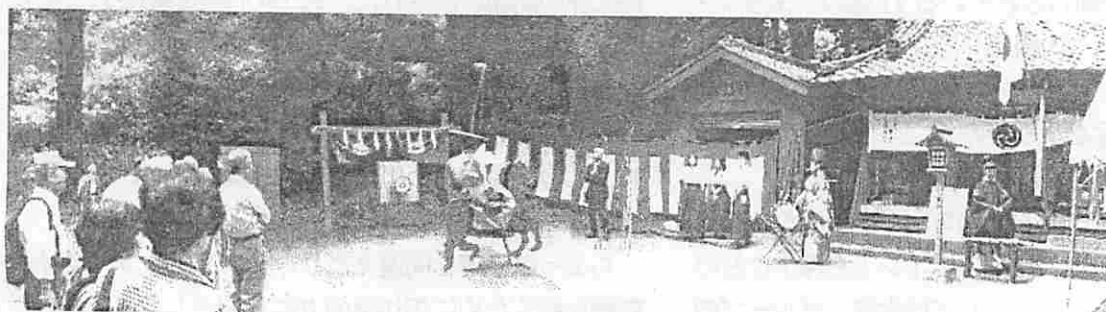
当日は台風一過の秋晴れで、儀式終了後の「流鏝馬」には所沢商業高校弓道部の若者が凛々しい姿で模範演技を披露して観客を沸かせました。

次いで、神社役員・地元名士の方々等の演技の後、一般の方々に交じり当該会の会員、佐藤八郎さんが木馬に跨り挑戦しました。しかし、3回目にやっと数メートル先の的を射ることができ、本人も満足の内にも照れ笑いを隠しきれませんでした。

皆さん古式ゆかしい神事に感激を覚えながら、初秋の日差しの中、比良の丘・山の神神社・三ヶ島葎子の



生家、左卜全墓地・金仙寺・中氷川神社と歴史散策を楽しみながら早稲田大学を経て帰路につきました。



還暦からの出会い

楽悠クラブ 秦 行夫

終戦の日を学童集団疎開の地で迎えました。焼け野原に帰京したものの、価値観の転換・混乱と学制改革もあり、音楽に関しては良い教師に恵まれず、社会人になっても音楽に縁の無い職場で、この国の高度成長期をただ走り抜けてしまいました。

リタイアし、過去ねぐらでしかなかった反省から、この地に関する講座や自治会活動に触れ、音楽祭などで伸び伸びと歌い、踊る子供達の姿が誠に羨ましく映り、市民大学14期2年目のグループワークは音楽を選択しました。メンバーには迷惑かも知れませんが、過去の自分に一番抜け落ちていると思う音楽の世界を学び、人としての幅を若干でも広げたいと思ったことが理由です。

講座終了後メンバーで立ち上げた「楽悠クラブ」に入り、オペラのDVDを中心に鑑賞を重ねて来ました。

音楽は知育を目的としないから、心で聴き・感性を養うとか言いますが、私の場合その域に達せず、作曲家の生きた時代背景など周辺知識を知り鑑賞する段階

です。例えば、オペラ「ばらの騎士」から平安王朝貴族との類似を考えたりします。

指導頂いた藤田先生とグループ旅行で、「タンホイザー」の舞台を訪ね、ボンのベートーベンの生家で見た彼が使ったとされる補聴器や、ウィーン郊外の「遺書の家（ベートーベン記念館）」も感慨深いものでした。

まだ私は心で音楽を聴ける段階ではありませんが、今年、井出聖子先生の横笛で、先生作曲の「月と水差し」、「パルミラ幻想」などを聴いて、先生の曲に込められた情感などしみじみと楽しめました。少し音楽を楽しむ素養ができたのかな？ と云ったところです。

還暦を過ぎて、出会う事の出来た「楽悠クラブ」のメンバーにも感謝です。まだまだ心の持ち方は「青春」でありたい。



シェイクスピアも忘れた一日

ドラマティック・カンパニー 武末タエミ

私たちは毎回その名のごとくドラマティックに、笠松先生の少年のような純粋さと情熱と、凡人には想像も及ばない深い読みの解説に助けられながら、シェイクスピアを読む醍醐味を味わっています。ドラマティック・カンパニーでの2時間はあっという間に過ぎていきます。

でも、たまには外にも出てみようとして6月11日、明大OBのS氏の案内で明治大学博物館へと繰り出しました。

博物館内の展示室は大学史展示室、商品部門、刑法部門、考古部門に分けられており、当日は若くて美しい刑法専門の学芸員さんが教科書で見覚えのある展示品の詳しい説明をしてくださって、社会科の授業を彷彿とさせてくれました。また、時代劇（和洋どちらも）の中で見るのと違って、実際に見る中世の拷問道具の数々は、使用されたであろう場面を想像すると、恐ろしくて目をそらしたくなるものばかりでした。

わが町の「砂川遺跡出土品」も相応のスペースで展示されておりました。市民大学で「世界的にも注目されている遺跡」と教わった時に、ぜひとも見てみたいと思ったのですが、意外に早く鑑賞する機会に恵まれました。出土品の数々がその場所に「在る」ことが誇らしくもあり、ちょっと悔しくもあり、所沢市民としては複雑な気持ちになったものでした。

お昼は師弟食堂で、素晴らしく安くて、量が多くて、美味しい食事をいただきながらメンバー間の親睦を深められたのも大収穫でした。わがドラカンのミスターOBに心より感謝。



「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会は盛況でした！

地球環境に学ぶ 河登一郎

ところざわ倶楽部を含む多くの市民団体の協賛を得て、「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会は、9月16日ミュージズ・キューブホールで開かれました。

実行委員会は、キューブホールの正面席の6割以上の入場者があれば成功だと予定していました。しかし、当日は3回とも正面席は売り切れ、横の席にまで観客が溢れるほどで、800人を超える来場が有りました。ところざわ倶楽部会員も多数来場頂き感謝しています。

映画会の隠れたセールスマンが、福島原発事故だったことは皮肉な結果です。

この映画は、鎌仲ひとみさんという元NHKの女性監督が2年も前から撮影した映画です。

撮影の舞台となった「祝島」は山口県の瀬戸内海にあり、1,000年以上前から続いた「神の舞」を大切に守っている人口500人弱の小島です。

島の人々が農業・漁業・畜産など、豊かな自然の中で持続可能な生活を守りながら取り組んだ、対岸の上関町原発計画への反対運動の様子と、20年も前からスウェーデンで市民が協力して風力発電を成功させている実態を記録した貴重な映画です。

日本中の300もの市町村で上映されています。

登場人物の発言は、脚本とは関係ない生活実感をふ

まえた本音で、珠玉のような発言の宝庫です。例えば、

・「私たちに原発を止める力はないが、遅らせることはできる。社会情勢が変わる可能性に賭ける」
(山戸貞夫さん)

・「本来は何もないのが一番良いのに、本土側にブサイクなコンクリの人工物がたくさんできた」(原さん)

・「日本では電力を選べないの？」(スウェーデン市民)などです。

皆さまのご協力と実行部隊の奉仕によって58万円もの収益が残りましたので、お約束通り、祝島で再生可能エネルギー100%を実現する運動と、福島で子どもたちを放射能から守る運動を進めている2団体、計3団体に全額寄付しました。入口のカンパ箱に頂いた鎌仲監督への協力金と、祝島への寄付もそれぞれ数万円ありました。ご協力ありがとうございました。



— 図書館まつりについて —

図書館まつりを開催します！(テーマ: なにか ★ みつかる ♪ 図書館)

- 日時 : 10月29日(土)・30日(日) 9時30分～17時
- 内容 : 「館内めぐり(図書館の裏側を探検)」、「展示(所沢ゆかりの作家、大人も楽しめる絵本)」、「頭の体操」、「おはなし会・工作教室」など。
- 講演 : 「秋の詩を読もう」 ※ 秋に関する詩を募集しています！(しめきり:10月20日)
[日時] 10月29日(土) 14時～15時30分
[講師] 須永紀子さん(詩人・第26回詩歌文学館賞)
- 講演 : 「60歳からの図書館活用法」
[日時] 10月30日(日) 11時～12時
[講師] 平塚今朝人さん
- 落語・講談 : 10月30日(日) 13時30分～15時(柳家おさん師匠等)
- 篠笛ミニコンサート : 10月30日(日) 16時～16時40分
[奏者] 荒井ひとみさん

※詳細は図書館、公民館等にあるチラシ、ホームページ等をご参照下さい。

お問合せ : 所沢図書館(Tel.2995-6311)航空記念公園内

| サークル活動計画 | |
|---|---|
| ■ 興味ある活動に皆さんも参加してみませんか！ | |
| アジア研究会 (小椋雄二 2921-7739) 10月26日(水) 10月例会：中央公民館8、9号室 テーマ：アジア関係 DVD 鑑賞予定 会場都合で第4水曜日に変更 ※11月はサークル総会を予定 日時場所後報 | ダースの会 (斉藤昌弘 2998-0406) 10月5日(水) 定例会・歌舞伎 DVD 鑑賞 10月・国立劇場歌舞伎「開幕驚奇復讐譚」鑑賞 10月19日(水) 課外活動六道山ハイキング 11月2日(水) 定例会・歌舞伎 DVD 鑑賞 |
| 傍聴席 (高垣輝雄 2926-7164) 10月定例会のお知らせ、10月18日15時～ 新所コミセン別館：“安田市議会議員”(市議会 新会派・大空代表)による政策発表、意見討論会。 9月定例会の所沢市コミュニティ課の仕前講習は大盛況でした。 | 地域の自然 (加茂恵三 2944-6554) 10月22日(土) 9時～12時30分 植生調査と畑地の整地早大B地区で 11月12日(土) 植生調査と冬野菜の植え付け等 11月26日(土) 落ち葉掻き体験の準備打ち合わせ |
| 楽悠クラブ (甲田和巳 事前連絡は不要) 10月11日(火)13:15～中央公民館8・9号室 歌劇「魔笛」DVD 鑑賞 11月07日(月)13:15～中央公民館8・9号室 楽劇「神々の黄昏(第1・2幕)」DVD 鑑賞 | 歴史散策クラブ (大河原功 2943-2004) 10月8日(土) 瑞巖寺のささら獅子舞 集合：西所沢駅改札口 12:45 10月15日(土) 役員会 11月3日(土) 北武蔵最大の鉢形城まつり |
| 地球環境に学ぶ (塚本二郎 2942-3117) 10月18日(火) 15時～新所沢コミセン学習室5号 ・本年度活動の振り返りと次年度計画の話し合い ・各自勉強の発表 11月15日(火) 15時～ 定例会の予定 | ドラマティック・カンパニー (八木雅子 2995-0148) 新テキスト「十二夜」を読み進めます。 活動予定日は10月15日(土)、11月5日(土) 時間：a.m. 10:00～12:00、 場所：新所沢コミュニティセンター別館 |
| 地域の自然を考える会 (前岳良子 2928-7334) 10月25日(火) 外来種の除去作業：早稲田大 AM 9:45～ 10月26日(水) 芋煮会 農家民宿「コロット」 AM10:00～PM14:00 | 葵の会 (池田新八郎 2940-0711) 10月13日(木) 定例会 13:30～16:00 場 所：中央公民館学習室1号 テーマ：源氏物語 夕顔巻 最も恐ろしく、また興味深い物語 |
| 公園を楽しむ会 (竹内隆造 2922-3711) 10月27日(木) 昭和天皇記念館と昭和記念公園散策 所沢駅9時集合(所沢駅9時11分発) 11月24日(木) 智光山公園にてパーベキュウ大会 楽しいひと時を過ごしましょう。 | 野老澤の歴史を楽しむ会 (嶋崎永司 2948-7331) 10月8日(土) 所沢市無形民俗文化財指定の岩崎のささら獅子 舞見学・西所沢駅集合―詳細別途連絡 コース・西所沢駅→上新井→弁天社→瑞岩寺 |
| 所沢の自然と農業 (渡部昇 2949-9432) 10月15日(土) 三芳町「世界一の芋堀大会」 10月18日(火) 定例会 10月26日(水) 芋煮会 とところざわ倶楽部と共催 10月29日(土) WAVOC砂川堀を歩こう | 北欧の会 (樋口俊夫 090-6483-7993) 10月29日(土) 第25回例会 13時20分～ 場所：新所沢東公民館 「北欧のエネルギー問題」について 11月19日(土) 第26回例会 13時20分 |
| | 音楽連・市民大学派 (若山昭 2922-1494) 10月17日(月)(中央公民館 13:00-15:00) 例会 10月31日(月)(中央公民館 13:00-15:00) 例会 11月7日(月)(中央公民館 13:00-15:00) 例会 11月21日(月)(中央公民館 13:00-15:00) 例会 |

《一寸庵閑話》

・わが家に 30 数年前から住み着いてタダ働きしている女性を私は海外旅行担当秘書として遇しておりますが、この秘書と 9 月に旅順、大連、瀋陽へ 8 日間の旅を取行。ツアーではなく秘書の迷通訳にすがっての『添乗員付き』。私の話せる中国語は『ニイハオ』『シェーシェー』『ツァイチェン』『ブヤオ』『ウォーリーベンレン』の 5 つだけですもの・・・(×。×)

・大連は日本の支配の名残が今も。泊まった大連賓館は旧ヤマトホテル、100 年の歴史をほこるルネサンス風の建物。満鉄本社ビルも横浜正金銀行も残っていました。ファッションの街、近代的超高層ビルが林立。美人が多く地ビール、海鮮料理が美味しくてくりゃあ気に入るのは当然です。6 月にセントペテルブルクでは 23 階のホテルから『乳母車押す影ひとつ白夜かな』と詠んだのですが、今回は詠まずに酔いました。

・私は独りで街を歩くことが好きです。大連の街を歩きまわり、帰りはタクシーでホテルまでたった 100 円です。10 メーターおきに警官が立っており温家宝が大連に来たことをテレビで知り、また大相撲をテレビで楽しみ、異国で中秋の名月を仰ぎ見てウルルンしました。(;-)・旅順の 203 高地に 30 分かけて登りました。

203 高地にちなんで聖霊山と乃木が名をつけ、大砲、銃などを溶かして作った慰霊碑があり、旅順港が見渡せました。団体客の日本語も懐かしく『大阪から来たんや あさって帰るで』言うてましたね。

・瀋陽(奉天)へは高速バスで 5 時間、快適でした。世界遺産の故宫、清の太宗ヌルハチの福陵は広く静か。満州事変の 918 歴史記念館、張作霖の邸など。

・大連、瀋陽は地铁(地下鉄のこと)を建設中ですが、建設工事の事故で開業が遅れるそうです。

(ケン・シェイクスピア)

料理コーナー



厳しかった残暑も台風一過と共に過ぎ去り、過ごしやすい季節になってきました。
 今月は暑さで疲れた身体を癒すメニューを紹介します。

【オクラとツナのキムチ和え】 2 人分

(材料)

オクラ 1 袋、ツナ缶小 2 分の 1、
 キムチ 50g、ごま油小さじ 1、塩少々

(作り方)

- ① オクラは沸騰した湯でサッとゆでて、手早く冷まし、小口切りにする。
- ② キムチを細かく刻む。ツナは汁をきってほぐす。
- ③ ①と②を混ぜ合わせ、ごま油と塩を加えて味を調える。

【かぼちゃの和風サラダ】 2 人分

(材料)

かぼちゃ 200g、ちりめんじゃこ 10g、
 大葉 10 枚、茗荷 3 個
 A：酢小さじ 2、塩、コショウ各少々、ごま油大さじ 1

(作り方)

- ① かぼちゃは種をスプーンで取り、一口大に切り軟らかく茹でて、つぶす。
- ② 大葉は粗みじんに、茗荷は小口切りにして、ともに 5 分ほど水にさらし、水気をきる。
- ③ じゃこは油で炒める。
- ④ ①～③と A をよく混ぜ合わせる。



後藤律子

むさし野俳句会 (二十三年九月) 作品抄

むさし野俳句会は、九月六日に鶯谷駅に程近い根岸の子規庵で吟行を行いました。近代文学(俳句)の原点を拓いた子規が明治二十五年から三十五年の十年間を過した記念すべき建物(戦災で焼失後に建て替えられた)が子規庵です。

身に入むや子規の絶句がいしづみに
 子規忌待つ根岸の街の賑はひに
 紅芙蓉子規の臥したる硝子窓
 子規庭に正す居住まひ花芙蓉
 糸瓜揺る子規が律呼ぶ声のして
 子規臥しし部屋に座するや鶏頭花
 賑はひにそつと座したる糸瓜の忌
 終の眼に糸瓜の花は見えざりき
 子規庵の風吹きかはる千草かな
 子規庵のガラスに写る芙蓉かな

鈴木すぐる
 鈴木 征子
 高梨 千代
 高橋 三郎
 高光 泉
 利根川啓一
 中村 直子
 平栗 彰子
 荒幡千鶴子
 飯泉 陽子

濡れ縁に薄日さしこむ子規忌かな
 底紅や鉄路の音の響く庵
 子規堂に旅だちの像頼祭忌
 子規庵やビルに埋つもる糸瓜棚
 鶏頭や子規に律ありわれに妻
 大食ひの子規の庵は糸瓜のみ
 へちま咲くビルの谷間の子規庵
 歌詠みの園をそぞろに糸瓜棚
 病室の夜長の長さ長きこと
 石灯籠倒れしままに秋半ば

井出 昇
 海老澤愛之助
 岡本詔一郎
 粕谷 昇
 河瀬 俊彦
 小林 貞夫
 佐藤 英子
 佐藤 八郎
 岡本 博
 小林 典子

